

平成28年6月21日

四国地域の経済動向（概要）
（平成28年4月分）

～四国地域の経済は、一部に弱い動きがあるものの緩やかな持ち直しの動きとなっている～（→）
（一部に弱い動きがあるものの緩やかな持ち直しの動き）

生産（→）鉱工業生産は、一進一退で推移している。（一進一退）
鉱工業生産指数は、前月比が2カ月連続の上昇となった。

個人消費（→）個人消費は、弱いながらも持ち直しの動きとなっている。（弱いながらも持ち直しの動き）
百貨店・スーパー販売額（全店）は、2カ月ぶりに前年を上回った。
コンビニエンスストア（全店）の販売額等は、38カ月連続で前年を上回った。
家電大型専門店販売額は、前年のデジアナ変換サービス終了に伴う反動減の影響が残るテレビが低調だったことから、3カ月連続で前年を下回った。
乗用車新車新規登録・届出台数は、普通乗用車、小型乗用車が前年を上回ったことから、全体では16カ月ぶりに前年を上回った。

住宅投資（→）新設住宅着工は、持ち直しの動きとなっている。（持ち直しの動き）
新設住宅着工戸数は、持家、貸家が前年を上回ったものの、分譲住宅が前年を下回ったことから、2カ月連続で前年を下回った。

倒産（→）企業倒産は、落ち着いた動きがみられる。（落ち着いた動き）
倒産件数は4カ月ぶりに前年を上回り、負債総額は3カ月ぶりに前年を上回った。

雇用（→）雇用情勢は、改善している。（改善している）
有効求人倍率は2カ月連続で上昇し、一般新規求人数は9カ月連続で前年を上回った。

公共工事（→）公共工事は、増加の動きがみられる。（弱い動き）
公共工事請負金額は、2カ月連続で前年を上回った。

注意：（ ）内は基調判断の動き。→は据え置き、↗は上方修正、↘は下方修正を示す。（ ）内は前月の基調判断を記載している。

【四国の経済指標】

平成28年4月

	四		国		全		国	
	前月比（%）	前年同月比（%）	前月比（%）	前年同月比（%）	前月比（%）	前年同月比（%）	前月比（%）	前年同月比（%）
鉱工業生産指数 （平成22年=100、季節調整済 前年同月比は原指数）	101.2	3.5	▲ 1.5		97.0	0.3	▲ 3.5	
鉱工業出荷指数（〃）	96.5	1.8	▲ 3.2		95.9	1.5	▲ 3.6	
鉱工業在庫指数（〃）	100.7	▲ 5.0	1.2		113.4	▲ 1.7	0.1	
百貨店・スーパー販売額（単位：億円） （全店） （既存店）	398		1.2		15,458		▲ 0.1	
乗用車新車新規登録 ・届出台数 （単位：台）	8,465		▲ 0.3	5.9	269,241		▲ 0.7	2.2
新設住宅着工戸数 （単位：戸）	1,681		▲ 2.2		82,398		9.0	
輸出通関額 （単位：億円）	559		▲ 29.8		58,891		▲ 10.1	
輸入通関額 （単位：億円）	675		▲ 35.7		50,660		▲ 23.3	
企業倒産件数 （単位：件）	15		36.36		695		▲ 7.08	
有効求人倍率 （季節調整済）	1.37	（前月差）	0.05		1.34	（前月差）	0.04	
公共工事請負金額 （単位：億円）	635		19.5		20,301		10.6	

（本発表資料のお問い合わせ先）
四国経済産業局総務企画部調査課長 範囲
担当者：岡崎
電話：087-811-8509（直通）
URL：<http://www.shikoku.meti.go.jp/>

※前月比、前年同月比は、増減率を示す。

管内経済指標の推移

